

2022年6月8日(水)第二水曜祈祷会

ネヘミヤ記6:1~19

「脅しとそれに勝る支え」

■「みんなで生き残る知恵」(5章)

- ・外部からの妨害を受けながら、工事を再開させる。
- ・貧しい者たちから不満の声が挙がる中で、富める者たちを非難する。
- ・ネヘミヤは富める者たちとともに「負債を帳消しにする」誓いを立てる。
- ・神を恐れるネヘミヤの12年間におよぶ総督としての慎ましい生活規範。

1. 妨害者たちの企み(6章1~9節) *ネヘミヤへの個人攻撃

- ①サンバラテとゲシエムはどうしてネヘミヤに会見をしようと持ちかけたのですか。
→ネヘミヤに危害を加えようとしていた *会見…話し合いのこと
- ②サンバラテは開封された手紙をもって、どんな噂を広めましたか。
→ネヘミヤが反逆を企んでいる。王になろうとしている。王の即位式まで行おうとしている。
- ③9節のネヘミヤの祈りにはどんな思いがありますか。
→敵の企みに惑わされずに、使命に立ち続けることができるように。

2. 預言者たちの裏切り(6章10~14節)

- ①ネヘミヤはどうしてシエマヤの忠告を拒否して、神殿に入らなかったのですか。
→神殿に入れるのは祭司だけだから。
- ②シエマヤをはじめ預言者たちは何のために買収されたのですか。
→ネヘミヤが罪を犯し、悪評がたつて、そしられるため。

3. 城壁の完成と脅しの手紙(6章15~19節)

- ①城壁工事が完成した時、どうして敵たちは面目を失ったのですか。
→神の御手に守られて完成したから
- ②ユダの有力者たちとトビヤとの手紙のやり取りは何を意味していますか。
→姻戚関係ゆえに親密な関係にあった。ネヘミヤの情報を伝えていた。

【適用と分かち合い】

- ①ネヘミヤはどうして敵対者ではなく、神に祈ったのですか。
→
- ②ネヘミヤはどうしてシエマヤの裏切りを見抜いたのですか。
→
- ③「私たちの神によってなされた」とは何を表していますか。
→